

令和6年度 森林環境譲与税の使途に関する事項の公表

京 都 府
京 都 市

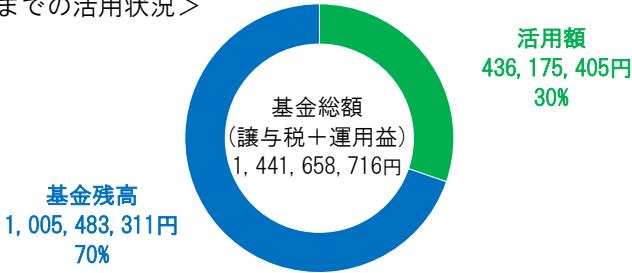
森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律第34条第3項の規定により、令和6年度の森林環境譲与税の使途に関する事項を公表します。
なお、本市では森林環境譲与税を毎年度全額基金に積み立てのうえ、活用額を取り崩す運用をしています。

令和7年11月4日

1 森林環境譲与税及び京都市森林経営管理基金の状況

森林環境譲与税及び運用益（円）		京都市森林経営管理基金（円）		
令和元年度～令和5年度森林環境譲与税額	1,093,468,000	積立額	令和5年度末の残高	791,467,419
令和6年度森林環境譲与税額	346,773,000		令和6年度森林環境譲与税	346,773,000
令和元年度～令和6年度運用益合計額	1,417,716		令和6年度運用益	1,315,263
合計	1,441,658,716	合計	1,139,555,682	
		取崩し額	令和6年度活用額	△ 134,072,371
		令和6年度末の残高 ^{*1}		1,005,483,311

<令和6年度までの活用状況>

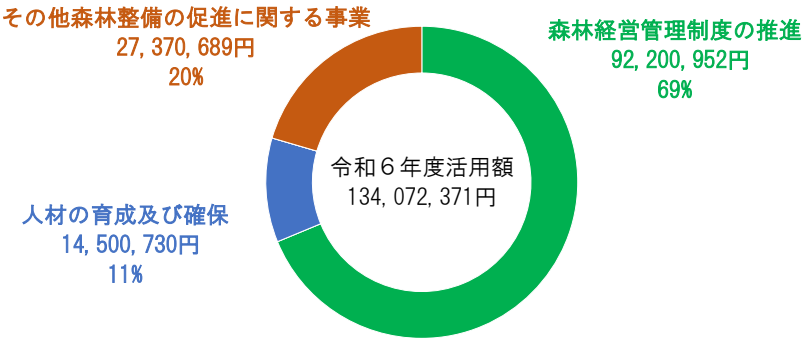


基金残高 ^{*1} の活用方針
京都市では、2050年までに市内すべての人工林を適切に管理する目標を掲げています。 目標達成に向けては、多額の管理費用が見込まれるため、森林環境譲与税を将来に必要な財源として京都市森林経営管理基金に積み立て、森林経営管理法に基づく経営管理意向調査、経営管理権集積計画の作成及び経営管理権が設定された森林施業等の事業に対し、計画的かつ重点的に充当することとしています。

2 令和6年度の具体的な活用状況 ※詳細は別記のとおり

区 分	使途・目的	森林環境譲与税 充当額（円）
森林整備	森林経営管理制度（新たな森林管理システム）の推進	92,200,952
	その他森林整備事業	0
森林整備の 促進	人材の育成及び確保	14,500,730
	森林の有する公益的機能に関する普及啓発	0
	木材利用の促進	0
	その他森林整備の促進に関する事業	27,370,689
活用額計		134,072,371

<令和6年度の活用状況>



【別記】

令和6年度事業の詳細

番号	区分	使途・目的	事業名	森林環境譲与税 充当額（円）	事業内容・実績
1	森林整備	森林経営管理制度（新たな森林管理システム）の推進	京都市森林経営管理推進事業	61,030,112	①意向調査の実施 2地区（694ha） ②経営管理権集積計画の作成 26件（65ha） ③管理施業の実施 17ha
2	森林整備	森林経営管理制度（新たな森林管理システム）の推進	森林経営計画作成促進事業	7,767,200	森林経営計画の認定森林から木材市場等へ搬出される木材 の運搬経費に対する支援 支援件数 13件
3	森林整備	森林経営管理制度（新たな森林管理システム）の推進	京都市林業用道路保全活動支援	6,000,000	橋梁の修繕や架け替えなどの改良：4路線 森林経営計画の作成面積：305ha
4	森林整備	森林経営管理制度（新たな森林管理システム）の推進	天然林等整備促進モデル事業	17,403,640	森林経営管理法に基づく意向調査の対象森林などにおいて、所有者自らが多様な森づくりを行う際の支援策の制度化に向けたモデル施業等の実施。 ①モデル施業 4地区（4.1ha） ②人材育成研修等 3回
5	森林整備の促進	人材の育成及び確保	森林経営管理人材育成事業	9,345,600	森林所有者の経営管理をサポートする人材2名の育成
6	森林整備の促進	人材の育成及び確保	林業の担い手育成・確保対策事業	5,155,130	・森林所有者向け講習会：延べ26名参加 ・林業従事者向け講習会：17名参加 ・安全対策物品や機械器具の購入支援：17件
7	森林整備の促進	その他森林整備の促進に関する事業	市内産木材普及促進事業	27,370,689	京都市木材地産表示制度の運用・供給体制の強化 ・みやこ杉木認証制度（京都市木材地産表示制度）に基づき、生産事業体の登録、監査、指導及び出荷量調査等を実施（事業体数46社） ・木材利用による流通体制構築支援。

1 京都市森林経営管理推進事業（充当額：61,030千円）

【森林経営管理制度の推進】

<事業目的>

令和32年（2050年）までに、市内すべての人工林を適切に管理する目標の達成に向け、森林経営管理法に基づく経営管理意向調査、経営管理権集積計画の作成及び経営管理権が設定された森林の整備等を実施する。

■ 事業内容及び実績

1 経営管理意向調査

平成21年度以降に間伐などの施業が確認できなかった私有人工林の所有者に、今後の経営管理に関する意向を確認する調査を実施し、本市が預かって経営管理する候補となる森林を特定した。

対象地域：左京区大原・八瀬地域

対象面積：694ha

調査内容：問1 調査の対象となる森林の所有の有無

問2 森林の境界について

問3 境界の隣接同意について

問4 所有森林の管理状況について

問5 所有森林の今後の管理意向について

問6 本調査の林業事業体への情報提供可否について

実績：回答面積 594ha(86%)

市に預けたい意向がある森林 343ha

2 経営管理権集積計画の作成

本市が預かって経営管理する候補となった森林について、所有者の同意及び隣接者の確認を経て、経営管理権集積計画の作成を進めた。

主な地域：北区小野・大森、右京区京北山国地域等

対象面積：約310ha

実績：令和6年度に作成した経営管理権集積計画 65ha

3 経営管理権を設定した森林の整備等

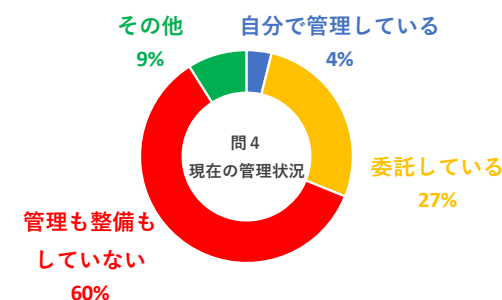
経営管理権を設定した森林において、間伐を実施した。

対象地域：北区中川・杉阪・真弓、右京区京北山国地域

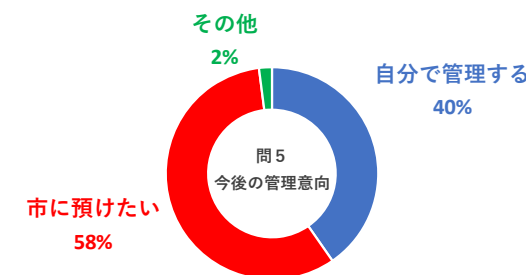
実績：17ha



R6意向調査対象地区
出典：国土地理院地図



R6意向調査票 問4回答結果（面積割合）



R6意向調査票 問5回答結果（面積割合）



R6意向調査説明会の様子



R6間伐施業地

2 森林経営計画作成促進事業（充当額：7,767 千円）

【森林経営管理制度の推進】

<事業目的>

森林経営計画の作成を通じた森林整備の集約化や路網整備を促進することにより、林業の採算性を高め、持続的な森林経営を推進する。

■ 事業内容及び実績

令和4年度以降に新たに樹立した森林経営計画の認定森林から搬出される木材について、木材市場等への運搬経費を支援する。

補助対象者：森林経営計画の認定者等

補助対象経費：森林経営計画認定森林からの間伐材、主伐材の運搬経費

実績：支援件数 13件、5,732m³



3 京都市林業用道路保全活動支援（充当額：6,000 千円）

【森林経営管理制度の推進】

<事業目的>

造林・間伐等の森林整備や木材搬出の効率的な実施に不可欠な林道を対象に、機能向上のための簡易な改良工事を実施することで、持続的な森林経営を推進する。

■ 事業内容及び実績

新たに森林経営計画を策定する森林内の林道及びその森林に到達するための林道で実施する簡易な改良工事（拡幅、舗装など）に要する経費を支援する。

【実績】

改良内容：4路線（林道根尻木谷線、林道一ノ谷線など）

森林経営計画の作成面積：305ha



4 天然林等整備促進モデル事業（充当額：17,404 千円）

【森林経営管理制度の推進】

<事業目的>

条件不利地等により手入れが行き届かず、木材生産に適さない人工林について、**広葉樹の植栽等による天然林化をはじめとする手法の検討を進め**、多様で健全な森林への誘導を図ることにより、**森林の公益的機能を発揮する。**

■ 事業内容及び実績

1 モデル事業

天然林化の推進に向けた試験施業の実施
実績：モデル施業 4 地区（4.1ha）

2 人材の育成

天然林化の誘導を目標とした森林整備に必要な基礎知識を習得するための研修や現場視察の実施
実績：研修会 3 回（参加延べ人数 93人）



5 森林経営管理人材育成事業（充当額：9,346 千円）

【人材の育成及び確保】

<事業目的>

森林組合等と連携して、森林の経営管理に意欲のある人材を雇用し、森林経営計画の作成・実践などの業務への従事を通じて、森林・林業に関する専門知識の習得や、森林所有者との信頼関係を構築することで、**所有者に対して森林の経営管理の方法を助言、指導できる人材（フォレスター）を育成する。**

■ 事業内容及び実績

森林組合において、制度の学習から現場の調査といった幅広い業務を経験し、森林の管理方法を提案できる人材（フォレスター）を育成。

所有者からの森林の経営管理に関する相談対応や施業地の現地調査、林道の管理方法等について学び、主体的に業務を担えるようになった。

実績：2 名（令和4年度から令和6年度まで継続して育成）



6 林業の担い手育成・確保対策事業（充当額：5,155千円）

【人材の育成及び確保】

<事業目的>

森林所有者や林業従事者が、安心して森林管理に従事できる環境づくりや安全対策物品等の購入支援を行うことで、森林管理の担い手の育成・確保を推進する。

■ 事業内容及び実績

1 森林所有者等が森林管理するための環境づくり

(1) 作業経験や知識の少ない森林所有者等を対象としたチェーンソーや刈払機に対する安全講習会の実施
実績：延べ20名参加

(2) 安全講習会を受講した者を対象とした実践的な伐木技術の実技講習
実績：6名参加

2 林業従事者が安心して森林管理できる環境づくり

林業現場での傷害や事故への対応力を高めてもらうために必要な救急救命に関する知識や技術を習得する安全講習会の実施
実績：17名参加

3 安全対策物品や機械器具の購入支援

補助対象：安全装具（ヘルメット、防護ズボン等）、安全装備品（呼子、小型無線機等）、かかり木処理具（チルホール等）、
小型機械・器具（チェーンソー、刈払機等）

補助率及び上限額：1／2、上限額150千円

実績：17件



チェーンソーの安全講習会の様子



伐木技術の実技講習の様子



救急救命に関する講習会の様子

7 市内産木材普及促進事業（充当額：27,371 千円）

【その他森林整備の促進】

<事業目的>

市内の森林資源の循環利用を促進し、持続可能な森林経営の実現を目指すため、市内産木材地産表示制度（みやこ杉木認証制度）に基づき、製材事業者をはじめとした関連事業者間の連携の強化など、市内産木材の供給力の向上を図る。

■ 事業内容及び実績

みやこ杉木を供給する製材所の勧誘・指導、みやこ杉木の調達相談を通じた利用者ニーズの把握や製材所へのフィードバック、マッチング等による流通体制構築支援等を行っている。

【実績】

生産事業体の登録、指導(登録事業体数：46社(令和6年度末))

みやこ杉木調達相談対応、製材事業者と建築事業者のマッチング等



みやこ杉木ロゴマーク



調達相談対応により導入された額縁



製材所見学会



製材所と工務店の意見交換



新規登録した製材所



本庁舎に導入した木製品